



満開のティートリー 2011年4月23日撮影

動植物シリーズ1

浅野誠 2012年10月作成

我が家のハーブ

目次

はじめに	5
私のハーブとのつきあい	6
ハーブティー	10
色々な使い方	13
栽培	16
イタリアンパセリ	18
ウォール・ジャーマンダー	19
オレガノ	20
カモミール	22



写真は、メキシカンブッシュセージの花、
2009年4月29日撮影

カラミント	レッサーカラミント	
	ウッドカラミント	24
コリアンダー		26
サラダバーネット		28
セージ	ボッグセージ	
	メドウセージ	メキシカンブッシュセージ
	チェリーセージ	29
セント・ジョンズ・ワート		34
タイム	オレガノタイム	
	クリーピングタイム	レモンタイム
		36

チャービル (セルフイーユ)	3 9
ティートリー レモンティートゥリー	4 1
ナスタチウム (キンレンカ)	5 2
バジル スイートバジル アフリカンブルーバジル	
ブッシュバジル ホーリーバジル (セイクリッドバジル)	5 4
ベチパー	5 8



写真はクールミント2012年7月30日

ミント アップルミント オーデコロンミント オレンジミント クールミント	
スイスリッコラミント スペアミント パイナップルミント	
ハッカ (ジャパニーズミント) バナナミント ブラックミント	
ペニーロイヤルミント ペパーミント マウンテンミント	6 1
メキシカン・スウィート・ハーブ	6 9
ルッコラ (ロケット)	7 0
レモングラス	7 2
レモンバウム	7 5

ローズマリー	77
ローゼル	79
ローレル (ベイ、月桂樹)	81
以前育てていたが、今は育てていないもの	83
アーティチョーク、ウィンターセボリ、キャットニップ、ステビア、 タンジー、ディル、バニラグラス、ブルーキャッツアイ、 フロレンス・フェンネル、ボリジ、マローコモン、 ミントブッシュ (プロスタンテラ)、ミントマリーゴールド、ヤロー、 レースラベンダー	



写真はボリジ2011年3月12日撮影

はじめに

2004年、ここ玉城に住み始めてからずっと、ハーブ育て・ハーブ利用をしてきたから、私のハーブ付き合いは、8年を越した。

2007年にスタートしたブログ「田舎暮らし・人生創造・浅野誠」に掲載したハーブ関連記事は、200回近いだろう。ブログ容量の都合があって、すでに消去した記事も多い。

そこで、これまでの記事を一まとまりのものに編集してみた。

記事は、専門的なことではなく、私の生活とかかわったハーブの物語なので、タイトルを「我が家のハーブ」とした。

ハーブの本を見ると、アロエベラ、キダチアロエ、ミツバのように、これもハーブなの？と思うものもある。薬草と言った方がいいかもしれない。しかし、考えてみれば、ハーブというと、「西洋」的雰囲気、薬草とか漢方というと、「東洋」的雰囲気を感じるが、改めて広く考えると、いずれも「薬用効果がある」として、人々が生活のなかで使用してきた」というものだ。

だから、今回も、ハーブと薬草とはおおまかな区切りにしている。私のブログでは、「ハーブ」と「薬草」の категорияがあるが、いずれ合併するつもりだ。両者の区分けも大雑把だ。

今回は、ページ数が多くなってしまったので、「薬草」は省かせていただいた。

掲載したハーブは、掲載時に栽培していたものだ。現在も栽培しているのもあれば、していないものもある。栽培を始めたころ、苗店で見つけたハーブ苗は、ほぼすべて我が畑に植えて、『実験』したのだ。今回掲載したのは、60種だが、2007年以前に実験失敗のものが、何十種もあるので、総計すると、100種ぐらい経験したことになる。

そのなかで、我が畑と相性がよくて、よく利用する40種足らずが残っているとってよいだろう。

※ 本文の各記事の最初にある年月日は、ブログ掲載日。

私のハーブとのつきあい

2007年4月4日

私のハーブ育て物語 第二ステージへ

ここに住んだ当初からハーブ育てを始めたから、もう2年7ヶ月になる。この間、苗店に並んでいるものはすべて試してみるということで、80種類近くも植えてきた。結果的に、9割ぐらいは成功して盛んに育っている。最初は1株だったものが数株になり、なかにはかなりの面積を占めるものも出てくる。

どう育てていいのか、どう活用すればいいのかを知るために購入した本も数冊になり、インターネットも活用した。家庭使用量を越えて余った物は、客人に差し上げたり、花野果村に出品したりしてきた。

ということで、そろそろハーブ育ても第二ステージに入ろうかな、と考え始めた。

1) 必要なものに限定して育てる。面積の限度があるし、育てても消費しきれないものもあるからだ。実験的な育て方は卒業しようというのである。

2) 花野果村出品も半年近くなるので、やめることも含めて、どうするか検討してみよう。もともと採算度外視どころか大赤字であることもある。それよりも、「趣味」としてやってきたが、かなりの手間暇がかかるからだ。これについては皆さまのご意見をうかがいたい。

※ この記事を書いて、しばらくして、出品をやめることにした。

3) 「ハーブ育て物語」を、種類ごと、ないしはテーマごとに分けて、このブログに書いていきたい。ハーブの本やインターネット情報は、本土の気候や土を前提にしている。沖縄に合った育て方について、私なりの経験を書いていきたい。「沖縄田舎暮らし」本でも多少は書いたし、ホームページでも書いてきたが、これからはこのブログで書いていくことにする。

2007年3月12日

ハーブ一袋80円は安い?!

今日、本土からの来客があった。庭・畑で、花野果村向けのハーブの袋詰め場面を見て、「80円は信じられない安さで、福岡では500円とか、298円という値段が付けられている」という。

その後、花野果村にお連れして、いろいろな品物を見てもらい、ここではそれが普通の価格であることを納得してもらおう。都市の方々は随分高いものを購入しているのだなあ、と思う。

その折の別の話。キャベツの白い部分は捨てるという人に出会う。私は「なんと無茶なことをするのか」という気持ちになる。同じようなことで、「曲がったキュウリは売れない」という話はよく聞く。キュウリは曲がるのが当たり前で、まっすぐの方がおかしいと思う。見た目の『カッコよさ』で、野菜を選ぶのはどうかと思う。

私は、消費者は生産者・販売者をめぐるドラマを読み取りながら購入することをたまにしてみてもどうかと思う。そして、両者のドラマの交流がもっとあっていいと思う。ハーブを出品しだしてから、こんなことを感じ学ぶことが多くなった。

2008年5月18日

ハーブ何種類か植える

久しぶりにハーブ苗を何種類か購入して植える。ほとんどは、以前に植えたことがあるが、うまく育たなかったものだ。

コヘンルーダ、セージ、カレープラント、カモミール、セルフヒール、チャービル、キャットニップ。

今回初めて植えるものとしては、カーリーミントがある。ステビアはすでに根付いているが、今回「大葉ステビア」を植えてみた。

季節がよくなると、週末、那覇などからの来客がある。皆さんのハーブや野菜をお分けすることが多い。我が家にハーブがあることを知っている方、関心のある方に、苗をお分けすることもある。今日も何種類かお分けした。実を言うと、繁殖し過ぎたハーブをお分けするのは、畑の整理にも都合がいい。

2008年10月17日

私の「ハーブの話」 半島芸術祭に向けて

明日の半島芸術祭の一つ、ビンガー女性会の企画に私も協力する。

私は、訪問者にハーブティーを飲んでいただく係。そこで、下のような説明書をつくった。長いので、半分だけ紹介しよう。

ご希望のハーブを飲んでいただくこともできるだろう。

明日は、希望者にはお持ち帰り用を、一袋200円で販売もする。詰め放題ということもする。

ハーブの話

2008/10/18 浅野誠

今日のハーブは、すべて私の畑で栽培したものです。

ハーブの育て方は、環境に合っていれば、とても楽なものです。ラベンダーのように、沖縄の環境ではなかなか難しいものを栽培することは、私はほぼあきらめました。

環境的にいうと、暖かい・暑い地域の種類は、沖縄では育てやすいと思います。アルカリ性土壌が適するハーブが多いのですが、我が家周辺は、日本では珍しいアルカリ性土壌（クチャ、ジャーガル）なので、その点で栽培しやすいところですよ。

お店で売っているハーブはほとんどが乾燥ハーブですが、今日お出しするのは、昨夕から今朝にか

けて収穫したものばかりの新鮮なハーブです。うまく保存すれば、数日はもちます。もし使い残すことになれば、乾燥させてください。

今日、提供するハーブを簡単に紹介します。

ハーブティー

次のもののミックスです。(材料切れで、一部含まれないこともあります)

レモングラス アップルミント クールミント
 スペアミント オーデコロンミント マウンテンミント
 バナナミント レッサーカラミント セントジョンズワート
 オレガノ バジルの仲間 メキシカンスイートハーブ レモンバーム ウィンターセボリ
 タイム レモンタイム ローズマリー

2010年3月6日

「ハーブ」といわれても

我が庭にある植物で、参照している本にはハーブとして掲載されているものがある。しかし、私の感覚では、「ハーブ」といわれても、と感じるものを並べておこう。もう別の記事で紹介しているものが多い。(まず50音順のアからソまで)

アスパラガス アロエ シソ ジャスミン (マツリカ)

同じようなものだが、今は育てていないもの。

オニオン ガーリック サフラン サンショウ (愛知の家で育てた) サンフラワー (ひまわり) スイスチャード

これまで、栽培したことはあるが、「放置式栽培」のなかで、今は生育していないものには、こんなものがある。夏の暑さや、水不足、そしてなにより「無管理」が主原因だ。

カラミント キャットニップ ゼラニウム セボリ セルフヒール (うつぼぐさ)

2010年9月16日

ハーブ———ブログ記事の振り返り・再発見

ここに住み始めて以来、畑にハーブを植えてきた。苗店で見つけたものは、ほぼすべて植えてみたといっていらいだろう。90種を超すだろう。結果として、半年ぐらい前に連載したもの約40が定着した。

この畑は、比較的ハーブに合うと思う。冬の寒さというものが弱いので、冬を越せないものはないことが大きいだろう。逆に、夏の暑さをくぐりぬけられないものが多い。しかも、暑さ対策をせず、自

然にまかせているから、なおのことそうだろう。また、土がアルカリ性であることも大きいだろう。

最近、木々が大きくなってきて、ハーブが育つ条件が変化してきたこと、同じ場所に植え続けたために、「疲れ」が出ているものもありそうなので、移植作業をすすめている。

使用方法は、ティーが主体だ。10種類ぐらいのハーブを、写真のようなガラスポットに入れて数分待ってから出す。このポットでは20～30杯ぐらいできる。すぐに飲まないものは、ペットボトルに入れ冷蔵庫に入れておく。

ほかに、入浴剤、芳香剤（防虫も兼ねる）としても活用している。



ハーブティー

2007年3月15日

私のハーブティー

ハーブの活用の第一は、なんといってもティー。何を入れるかは、朝、午後、夜とで異なる。異なってもベースは、ミント類、レモンバウム、レモングラスなど。それに朝は、ローズマリー、タイムなどの「元気を出させるもの」を加える。夜は、キャットニップ、セント・ジョンズ・ワート、カモミールなど鎮静効果のあるものを加える。

他に、風邪気味の時などは、その効果があるものを加えます。

こんな具合です。すべてフレッシュハーブを使うのが、栽培していることのメリットです。



2008年4月16日

本日のハーブティー

今日は、アップルミント、クールミント、ブラックミント、スペアミント、ペパーミント、マウンテンミント、オーデコロンミント、バナナミントのミント類、レッサーカラミント、レモンタイム、オレガノ、レモングラスを入れた。

ティー用には、他にローズマリー、メキシカンズウィートハーブ、ステビア、レモンバウム、バジル、タイム、スイスリッコラミントなどがある。

2009年5月6日

今朝のハーブティー

タイム

ローズマリー

マウンテンミント

レモンバーム

メキシカンスイートハーブ

スペアミント

クールミント

レモングラス

このところは、この組み合わせが多い。
活力がほしい午前中むきの組み合わせだ。



2011年5月11日

ハーブティー・ミックス

今、収穫できて、ティーになるものの大半。

アップルミント クールミント レモングラス メキシカンスイートハーブ ブラックミント

ステビア レモンバーム ペパーミント ベルガモット スイスリッコラミント オレガノ

マウンテンミント タイム ローズマリー オーデコロンミント ペニーロイヤルミント バナナミント スペアミント・・・

近所におすそわけ



色々な使い方

2008年11月21日

ティートリー風呂

今日は、ティートリーを煮出したものを風呂に入れた。そして、いつものように海水も入れる。

ティートリーは、意外に知られていない。アロマセラピーの世界で、もっとも有名なものの一つだ。

オセアニア原産のもので、10ミリリットルの小瓶で3000円くらいする。それをアロママッサー
ジとか、お香にして使うのが一般的だ。強力でかつ人体には無害なので、虫刺されに使うこともできる。

私もこんな風にして使ってきた。

3～4年前、近くの苗店で、この苗を見つけた。畑に植えた。しかし、日本ではなじみが薄いので、
どう育てたらよいかわからなくて、いろいろと調べた。

湿気が強いところがいいということだけが判明したので、湿気が多い場所に移植した。

その後、勢いよく育ち、現在は3メートルを越す。

さて、どう活用したらよいか。アロマエッセンスをつくるには、高価な器具、そして技術が必要だ。
そこで、考えついたのは、ポプリにするか、入浴用にあることだ。

ということで、昨年から入浴用に使っている。

この素晴らしい匂いは、入浴の際だけでなく、ほぼ一日中、我が家を素晴らしい匂いで包んでくれる。

今、4階の研究室で、このブログ入力作業をしているのだが、2階の風呂場からその匂いが飛んでく
る。

おすすめだ。そして、他の活用法をどなたかに教えてもらいたいものだ。



2011年2月3日

クバ製のかごにティートリーを入れて、香を楽しむ

かごは、恵美子が、くばの葉で編んだもの。

ティートリーは、庭の木から枝葉をとって、煮出して風呂に入れたものの、残りの枝葉。

それでも、十分香るが、今回はひのきの香も足した。

2009年7月11日

ハーブを愛する乙女三人

ネイルケアをするのにハーブを活用

今回は、我が家のバナナミント、ローズマリーを。



2009年10月11日

セージを網に入れて乾かす

匂いを楽しむ

室内のあちこちに置く

トイレにも

2011年10月14日

セージ ベチパー 防虫用ハーブ



我が家のハーブは、ハーブティーや料理用だけでなく、入浴剤や防虫剤・防臭剤としても活躍する。セージやベチパーは、網袋に入れて、トイレ、クローゼットなどに置く。市販の防虫剤が猛毒で人体にも悪いと知り、いっそうハーブ防虫に向かっている。セージは何種類か育てているが、写真はメドウ・セージ

栽培

2010年12月17日

ラセン式ハーブ園



本で読んで、5年前につくった。大きな石でらせんをつくって、土をいれていく。
こうすると、陽性陰性、湿度の多少の点で、ハーブの習性の対応できるというのだ。
5年たったので、ハーブを多少入れ替えた。

今植えてあるもの

キダチアロエ　メキシカンスウィートハーブ　オレガノ　ウィンターセボリ　カモミール
ブッシュバジル　セントジョンズワート　ステビア　レモンバウム　スイスリッコラミント
ウォールジャマンダー

このほかに、クワンソーが、繁殖してここに侵入している。

2011年3月4日

ラセン式ハーブ園 満開のメイフラワー



暖かくなってきたと思ったら、戻りピーサの今日。

我が家の畑・庭の一角に、ラセン式のハーブ園がある。

現在の仲間たち ラセンの上から書こう

メキシカンスイートハーブ、ポリジ、レモンタイム、セボリ、オレガノ

カモミール、ブッシュバジル、ブラックミント、ステビア、レモンバウム（以上の5つは、写真では陰になっている）

クワンソー、ペパーミント、ワイルドベルガモント、ミントマリーゴールド、スイスリッコラミント、セントジョンズワート、ウオールジャーマンダー、

右後ろには、満開状態のメイフラワー。散り始めたが、寒さでストップしたので、今が最高の見ごろ。

イタリアンパセリ

2010年3月5日

毎年、種から作っていたが、できすぎるので、
今年は苗二本を植える。
それでも、できすぎ。



2010年12月19日

主としてサラダに利用
パセリとは、雰囲気は異なって、これまた美味しい。
無論、普通のパセリも植えてある。



ウォール・ジャーマンダー

2010年3月19日

これは、私が参照している「ハーブ図鑑」には掲載されていない。インターネット検索すると、ハーブで出てくる。

5年前、苗店で見つけて植えたが、失敗した。また見つけて再挑戦中だ。今度は成功しそうだ。ハーブティーに使われるだけでなく、いろいろな薬効があるというが、まだ使ったことはない。

——成長が遅いので、周りに負けそうになる時もあるが、今も元気だ。



オレガノ

2007年5月25日

とても威勢よく繁殖する。活用レパートリーが少ないので、繁殖に追いつかない。



2008年6月8日

オレガノペーストづくり

オリーブオイルと塩をくわえてミキサー

近くの新しいカフェ「ビーンズ」で作り方を教えてもらう。



2010年3月6日

大変強く繁殖力旺盛。

習って作ったオレガノペーストだが、ジャム代わりに
するとか、いろいろ活用できるようだ。

しかし、我が家での人気はいまいち。

カモミール

カモミールには、ジャーマンカモミールとローマンカモミールがあることがよく知られているが、ハーブティーなどで活躍するのはジャーマンカモミールで、私が育てるのもこれだ。

2007年6月8日

鎮静効果が高く、眠りづらい時には、よくお世話になった。庭にある時から、とてもいい匂いを出す。



2009年2月3日

開花。

花を摘んでハーブティーにする。摘み取り作業はめんどろだが、匂いをかいでの作業だから、我慢はたやすい。



右写真は2009年2月27日撮影

2010年3月12日

暖かくなりそうなので、これから花盛りを迎えそうだ。

白い花をつんで、ティーにする。

こころ落ち着かせるのに、最適。甘美な匂いもいい。

10年近く前、激務で体調を壊したとき、とくに寝付けない時は、これを愛用した。愛知の家でも育てたが、購入したものを活用することが多かった。トロント時代も愛用した。



2011年2月12日

苗店で買って植えた苗が初開花。

まいた種からも、たくさん育ってきている。

ここ数日の暖かさで、数輪だけが開花。

3月になれば、たくさん開花するだろう。

カラミント

レッサーカラミント

2007年7月10日

すくすくと育ち、7月に入って盛んに開花し始めた。この写真は開花前のもの。

名前からミント系と間違えるひとがいるが、そうではない。ティーにする場合、ローズマリー同様、元気を出す系として扱っている。去痰作用などもあるという。



2012年7月15日

ほぼ毎年植えている。今年の成長が最も良い。

写真は、つい最近収穫したばかりのあとだが、次から次へと伸びて開花する。

こぼれ種からも育つと本にはあるが、その経験はなく、毎年のように、苗一本買ってきて育てている。





ミントと同じように、ハーブティーの定番にしている。
強壮効果もあるとのことだ。

ウッドカラミント



2007年5月17日

元気を出させてくれる感じ。午前中、元気が出ない時のハーブティーには、ローズマリー、タイム類などと同様に、カラミント類をミックスして入れることが多い。

コリアンダー

2010年3月9日

香がいい

料理用に使用

これを育てるのは、きちんとは今年が初めて。



2010年12月17日

植え付けたばかり

昨年初めて植えて成功したので、今年も苗を買ってきて植えた。

香がよく、料理の味をだすのによいが、料理法の研究はこれからというところ。

2月ころから使えそうだ。



2011年4月15日

開花

料理用に再三活用したが、切っても切っても伸びてきて、ついに開花





サラダバーネット

2007年6月6日

名前の通り、サラダに使っている。



右は2010年3月10日撮影

セージ

セージには種類が多い。私も何種類も挑戦した。
結局、この土地に合うボッグセージとメドウセージ
が繁殖している。



ボッグセージ

2007年6月28日
普通のセージとは違って、湿気があるところでよく育
つ。5月以降すごく繁殖しており、どう活用するか困
るほどだ。先日はお風呂に入れてみた。



2008年5月13日
花が素敵だ。



2010年3月29日

繁殖過剰状態

入浴用や乾燥させて香り用に使用している



2012年8月1日

香りがしっかりしているので、最近では、防虫向けのベチパーに混ぜて室内に置いている。

我が家で育ててから、もう5年にはなるだろう。強い植物だ。

セージは失敗成功半々だ。沖縄に合うのか合わないのか、我が畑に合うのか合わないのか、相性があるように感じる。



小さい花が可愛い。



メドーセージ

2007年7月6日

4月ごろから急速に成長し、雑草気味になっているが、紫色の花も美しい。

何冊かのハーブの本で調べるが、一冊も登場しない。

2010年4月5日
これまた繁殖力旺盛
どんどんカットする。



2011年5月7日

梅雨の雨で、垂れ下がっている花。



2012年8月10日

ボグセージと似ている。同様に湿気が嫌いではない。
強力な生育力で、はびこるに近い状態だ。
花が可愛い



メキシカンブッシュセージ

2007年7月2日

我が家で2年間育てているが、成長がとてもいい。
花も美しい。



2010年1月5日撮影



2010年4月3日

セージ類は、数年前に植えたものが、ずっと元気だ。放置状態というか、広がりすぎたものをカットしている。それを網に入れて乾燥させ、香を楽しんだり、消臭作用向けに使用している。

メキシカンブッシュセージは、この後、育てるのをやめた。

チェリーセージ

2008年5月13日

育てたのは、この時だけになり、その後はない。



セントジョンズ wort



2007年6月14日
温度が高くなるこの時期に急成長する。鎮静効果があるという。

2010年3月15日

不安・不眠解消向けの優しいティーづくりにいい。



2011年6月8日

10日前の、猛烈な台風後、畑のものの大半が被害を受けたが、今朝畑をまわっていて、元気を出しているのに気付いたのは、セント・ジョーンズ・ワート



タイム

2007年6月16日

とても小さな葉っぱだが、少量でも味がでて、元気にしてくれる。

乾燥気味で日照を好むので、畑の端の岩の上で育てている。



2009年10月15日

猛暑小雨はタイムにはよかったようだ
元気が出るハーブ

2010年3月16日

育てたいハーブなので、いろいろと試行錯誤した。乾燥に強いというので、岩のくぼみに移植したら成功した。

強壮効果がある。元気を出してくれ、去痰効果もある。愛用ハーブだ。



オレガノタイム

2007年5月21日



タイム類を数種育てているが、その一つ。

朝にハーブティーとして飲んでいるが、タイム類のなかでの使い分けはまだよくわからない。

岩場の上で、タイムの隣に育てている。

—— 残念ながら、2011年5月末の台風で消滅した。

クリーピングタイム

2007年6月2日

その名の通り、はっていくタイムだ。4月ごろから生育がいい。



レモンタイム



2007年7月14日

上の写真は、岩の上でないが、岩の上がよさそう
だ、ということで、引っ越した。

2010年4月9日

右の写真では、岩の窪みで育てている。
——しかし、これまた、台風後ダメになり、今は
ない。



チャービル=セルフィーユ

2010年1月7日

大変よく成長

料理、サラダ向けにいいとのこと

「美食家のパセリ」というそうだ

さて我が家では、どんな風にいただくかな



2010年3月17日

今年、初めて植えた。

なかなかのものだ。

料理用。香がいい。

2010年4月6日

満開のチャービルの花



2010年12月18日

植え付けたばかり。

昨年成功したので、今年も、と植えた。



ティートリー

2007年6月20日

大きく育つという。アロマエッセンスとして著名。私のアロマセラピーで愛用してきた。虫さされ薬の代用品にもなる。

しかし、アロマエッセンスを自分で抽出するとなると大変だ。だから、どう活用しようか、考えあぐねている。

私はこの匂いが大好きだ。



2009年1月28日

四年近く前、10～20センチくらいの小さな苗だったものが3メートルを越し、しっかりした幹を作り始めた。

直径10センチはあるだろう。

触ると簡単に皮がはげる。白い幹が登場。

その幹を触ると、布団のようにふわーっとしている。たまらなくいい感触。

入浴剤として愛用しているが、我が家の貴重な高木にもなりそうな気配だ。

2009年3月26日

開花

最初の出会いは、アロマの精油として。

苗を植えたのが、4年前。

どう育てたらよいか、なかなかわからず。

ウェブサイトにも、精油は詳しくでてくるが、育て方は出てこない。

やっと出会った情報は、もともとの生育地では、湿ったところだということ。

そこで、我が庭の湿っぽいところへ移植。

それが成功したせいか、どんどん大きくなる。今や3メートルを越す。

どう活用したらいいか。精油にするのは、素人ではなかなか難しい。そこで、昨年から入浴剤として使用。枝葉を煮出して、お風呂に入れる。

これがいい。とってもいい香りが家中に広がる。

今日、開花しているのを発見。

この花を日本で見たことがある人は滅多にいないだろうと、一人で悦に入る。



2009年3月30日

満開。

前回は一輪だけのせたが、今回はたくさんのお世話です。

癒し効果が大きい植物ですが、見るだけでも素敵。

こんなに素敵な花をみられるなどは、想定外だった。

2009年4月13日

花が種に。半月あまり楽しんだ花も終わりに近づく。

ありがとう。

雨が降り始めた。見納めかもしれない。

また、来年咲いてくれるかな。



2010年3月18日

5年近くなり、高さ4メートルもっばら、煮出して入浴に使っている。香が、家中に充満して、幸せの雰囲気。まもなく、美しい花の季節を迎える。

2010年3月26日

昨年、初開花で感動した。
今年も、期待できそうだ。



2010年9月21日

幹
愛する木の一つだ。
高さが4メートルぐらいになってきた。



2011年2月20日 つぼみ。2月中旬になって、枝先に小さなつぼみがみられるようになった。



数ミリ程度だ。

2011年2月27日

開花寸前



実は、26日に3輪が開花した。写真が取りにくい場所なので、今回は、開花寸前のものを掲載する。2, 3日したら開花を掲載できるだろう。

桜より美しいのではないかと、思う。沖縄、日本では、大変珍しいので鑑賞の価値があると思う。

2011年3月13日

ふくらむ蕾



数輪、時期外れにさいたが、それらは散った。

今たくさんのつぼみが膨らんできた。

いよいよ、あと数日と言う感じだ。



2011年3月25日

蕾から開花へ

数日前の暖かさで、数輪咲き始め、一挙に咲くかとおもっていたが、再び寒さが戻り、しばしストップ状態。本格的開花には、次の暖かさを待つしかない。

写真は、つぼみから開花に至る過程のもの。



つぼみが、まず細長く伸び始める。

かなり伸びたものの中から白い綿毛が出て開花となる。



2011年4月16日

本格的開花へ



3月は記録的寒さだったとのニュースがあった。そのためか、2月末と3月半ばに数輪咲いた後、ずっと蕾のままだった。

しかし、ここ数日の暖かさでやっと本格的開花へとすすんだ。23～24度以上が続くのが開花の条件のようだ。昨年より半月以上遅い感じだ。

3階ベランダからの撮影なので、距離にして20～30メートル離れている。ズームで撮影。現在、二分咲きといったところ。見ごろは、来週になりそう。



2011年4月23日

満開



2011年4月30日

「ティートリーの木を殖やそう」という提案

数日前、集落の会合後の懇親会で、我が家のティートリーの事が聞かれた。「あれは何ですか」という質問だ。

そして、

「あの白い花は見たことのない珍しいものだ。20年ぐらい前に、集落にイッペーの木をたくさん育てよう、という提案をしたが、実現しなかった。このティートリーは、美しいし、珍しいので、集落で殖やせないだろうか。挿し木か取り木で」という提案をいただいた。

興味深い提案なので、考えてみることにした。

でも殖やせるかどうか、心配なので調べてみた。5、6年前、苗店で買ってきた時当時、育て方が不明なので、いろいろ調べた。ハーブの本にしるインターネットにしる、当時はさっぱり分からなかった。1、2年後、インターネットのサイトで、原産地では湿気があるところで育っているとの情報をえた。早速、湿気のあるところへ移植したら、ぐんぐんと伸び始め、今日に至った。

殖やし方が分からないので、今回も、いろいろとインターネットサイトを調べた。以前は全くなかった育て方の情報が少しは掲載されるようになった。苗もサイトで販売しているところがある。1500円ぐらいだ。殖やし方については、一か所に「挿し木」ができるとあった。ただそれだけの情報なので、頼り

ないが、挑戦してみることにした。

早速枝を切り、10本ぐらいに切り分け、いつも私がするように、2,3日水につけ、その後、ポットに植え付けてみるつもりだ。結果が出るのは、6月に入ってからだろう。でも、挿し木にはいい時期でよかった。

写真は、挿し木光景だ。ブーゲンビリアのはなびらが落ちるシーズンで、ポットもはなびら一杯だ。



2011年6月1日

台風でティートゥリー折れる



今回の台風被害での最大のショックは、ティートゥリーが折れたことだ。「見事に」根元近くで折れた。再生するかどうか期待をもって後片付けをしている。



2011年7月2日

ティートリーが生きていた



5月末の台風で、根元からぱっきり折れたティートリーを、再生しないかと、毎日のように見ている。ついに新芽を発見。



感動だ。

2012年9月9日

次の写真からは、昨年5月末の台風で、根元近くで倒れた木が、復活してきた様子を示す。





倒れる前は、高さ4メートルを越し、春先に見事な花をつけていた。現在、高さは2～3メートルまで回復したが、以前の4メートルに戻るには、あと1年ほどだろう。開花は、来年は無理としても、再来年に期待している。

レモンティートリー

2010年4月12日

苗店で見つけて植えた。まだ半年ぐらい。
ティートゥリー同様に、大きくなることを祈る。
下の大きな葉は、三つ葉



ナスタチウム（キンレンカ）

2010年2月21日

ナスタチウム=キンレンカは、食べられるハーブだ。

ちょっとの辛味がうける

葉も花も食べられる

サラダなどに



2010年3月20日

我が家だけでなく、あちこちできれいなものがたくさん見られるようになってきた

5年前に種からそだてたものが、毎年芽を出していたが、放置式のため、だんだんと少なくなってきた。恵美子がハンギング植えを買ってきたので、それを地植えにした。

バジル

スイートバジル

2010年3月21日

定番だ。

我が家にもあるが、料理に活用することが少ないので、活躍したがつているようだ。



2012年5月4日 (4月20日ごろの撮影)

花



アフリカン・ブルー・バジル



2007年5月11日

よく見かけるスウィートバジルより葉が小さくて青みがかった。

多年草で、大きくなる。近隣の畑や道端でも時々見かける。花も可愛い。

※ 写真は、携帯撮影なので、写りがよくないことを許してほしい。

———今は、栽培していない。

ブッシュバジル

2007年7月4日

普通のバジルよりずっと葉が小さく、かわいいバジルである。使い方は、普通のバジル同様のようだ。冬場でも育つ。



2011年3月27日



普通のスイートバジルとは雰囲気が違う。かわいい感じた。

ホーリーバジル (セイクリッドバジル)

2007年7月22日

とても香のいいバジル。畑でも時によるが、匂いを激しく出すことがある。

これを苗店では「ジルコン」という名前で売っていた。しかし、いろいろと調べるが、その名前ではわからない。

植物に詳しい方が訪問した際に尋ねると、ホーリーバジルだろうとおっしゃる。その名で調べると、いろいろな情報がでてくる。名前のように、聖なるものと扱われている。



成長がとてもよく、コモンバジルと異なって、多年草扱いしている。

2012年8月18日



以前から育てているが、ほったらかしの「育て方」。一度、なぜだか忘れたが、枯らしたことがある。でも、簡単に枯れるものではない。現在のものは、元気がよい。台風などはものともしない。大きくなりすぎて困るほどだ。大きくなって、風で倒れかかって、隣の植物を邪魔するほどだ。



ウェブでみると、「ホーリー」なことが一杯書かれている。

私は、これまた、私流のハーブティー・ミックスのなかに入れて飲んでいる。

ベチパー

2010年3月31日

「花ふう」さんから苗をいただいた。

全く知らなかったハーブで、ハーブ事典にもでてこない。

2月の「ユンタク庭」で出会った花ふうさんに教えられた。

植えたばかりだ。

ウェブで見ると、精油にして使用するということだ。香がよく、シャネル5番にも使われているとのことだ。ゴキブリ忌避剤としても注目されているとのこと。



2011年6月22日

台風で葉先が少し痛んだが、ほとんど影響なし。

そろそろ刈り取って使う時期だ。

台風の影響ゼロと言えるのは、このベチパーとレモングラスぐらいだ。

2012年7月2日

すごい成長ぶりだ。まわりを圧倒する。

株分けしたり、伸びた葉をどんどんカットしても、どんどん伸びる。レモングラスに形も勢いも似ているが、勢いは断然すごい。



インターネットで調べてみると、ゴキブリ除けにいいとある。短くカットして、メドーセージやボックセージと混ぜて、網や袋に入れて、ごきぶりや虫よけに使用している。



市販の防虫剤が猛毒であることを知ってから、これらに取り変えてきている。
私は使用したことはないが、精油してアロマとして使えるとのことだ。



ミント

アップルミント

2010年3月6日

ティーにする。全くリンゴの香り。

我が家のハーブティーは、すべて生のハーブでつくる。

このハーブは、2, 3日でしおれるのが難



2012年7月19日

ここに住み始めたころからずっと旺盛に生育している。甘い香りがなんともいえない。



もっぱらハーブティー向けに、他のハーブとブレンドして使っている。
今や、畑庭のあちこちに育っており、過剰生産状況だ。



収穫して、洗ったものの写真。水気が残っていると、痛みやすい。それでも一週間はもつ。

オーデコロンミント



2007年5月19日

香りが特徴的。人によっては強すぎると感じるくらいだろう。成長は早い。



右写真は、2010年3月7日撮影



オレンジミント

2007年5月23日

最近植えたばかりで、私自身はまだ味わっていないが、訪問した小学生が、早速オレンジのいい香りを楽しんでいた。

2010年3月8日

条件の悪いところに植えたので、息も絶え絶えに。でも、なんとか。



クールミント

2007年5月31日

ハーブティーに愛用しているミントのうち、アップル、スペアと並んで、長く栽培している。冬になると生育が遅いが、5月ころから勢いがよくなる。

2010年3月8日

これはミント類では一番元気がいい。
あちこちにたくましく繁殖



2012年7月30日



我が畑のハーブで、雑草のごとく繁茂しているのは、クールミントだ。アップルミント以上だ。ここに住み始めたころに、いただいたものを植え付けた。希望者がおられれば、どれだけでも差し上げます、といえるほどだ。

もっぱらハーブティーに使っている。

収穫



スイスリッコラミント

2007年7月20日

匂いがすごくいいミント。ハーブティーに入れる。
繁殖力旺盛



2010年3月13日

スペアミント

2007年6月12日

ガムによく入っている。ハーブティーにして出すと、お客さんはガムのような感じとおっしゃる。



2010年3月12日

ミントのなかでは条件がいい場所に植えたので、
大繁殖中

昨日訪問した沖リハ学生たちには、9種混合の
ハーブティーを差し上げた。

我が家の定番だが、評判がいい。



パイナップルミント

2010年3月22日

昨秋植えたばかり

初挑戦

葉の周囲の白のカラーが独特だ

———今はいない

ハッカ＝ジャパニーズミント

2010年3月25日

クールミントが我が庭にもあるが、私には違いがわ
からない。

一応、苗店には「ハッカ」という札がかかっていた。



バナナミント

2010年3月23日

——今は、樹木の裾に植えているタマリユウの隙間から顔を出すことが多い。理由はわからない。



ブラックミント

2010年3月26日

名前の通り、やや黒っぽい

ペニーロイヤルミント

2007年6月26日

ミントにもこんな仲間がいるのだ。
地面をはっていく。
小さい葉だ。





ペパーミント

2010年3月27日

悪条件下に放置していて、もうなくなっただとおもっていた。

最近、まだ元気であることがわかった。

ミント類は、たくましい。

マウンテンミント

2010年3月28日

繁殖力旺盛だ。

味が強い。

一風変わったミント



メキシカン・ スイート・ハーブ

2007年6月30日

ステビア同様、甘味料として大変役立っている。

数枚の葉で、ハーブティー一杯分に十分な甘さ。

挿し木で容易に繁殖できる。



2009年2月14日

同じ甘味料のステビアも育てているが、苦戦状態であるのに対して、こっちの方はどんどん育つ。広がりすぎて、どんどんカットしなくてはならないほどだ。

2010年4月4日

繁殖力きわめて旺盛

私のおすすめだ



ルッコラ (ロケット)

2008年12月10日

野菜ハーブ

ちょっとピリッと辛いのがいい

今日は、さしみのツマにしてみた。

一昨年、花野果村にハーブを出していた時、これだけはすぐに売り切れた。

栽培はいたった簡単。

広まってもいいと思うが。

種は販売しているので、簡単に手に入る。



2009年1月6日

我が家の畑の相性がいいのか、毎年豊作
客人に差し上げている



2009年11月18日

毎年この時期から春まで、収穫が多い
サラダに混ぜ合わせると絶好



2011年3月19日

間違って、種を2袋も買ってしまったものだから、畑に沢山まく羽目になった。
収穫しきれないので、花がたくさん咲き、種もでき始めている。
自然に種がこぼれて、来年もたくさんの収穫になりそうだ。

2012年5月4日

花



レモングラス

2007年7月12日

定番ハーブだ。我が家でもたくさん育てている。

多すぎた時には、入浴用に使うほど、贅沢に使っている。その時は、予め鍋で煮立てて、液をお風呂に入れる。

最近は、ハブ除けにもなるというので、家の敷地境界に、数メートルおきに植える作戦をして、すでに20株近くになる。



2008年6月14日

卓球試合で、久しぶりの人にあった。タイ料理をしている方だ。話していると、今レモングラスが不足しているとのこと。そこで、我が家のものを活用してもらうことになった。

試合終了後、我が家にこられた。私がいっものように、地面から15センチぐらいのところから切ってくると、生え際から15センチぐらいのところが必要だということだ。その部分が色々な料理に使われるのだ。そこで、実際に切ってもらった。

さすが、本場タイの方は違う。これでレモングラスの育て方・利用の仕方の新しい知恵をいただくことができた。それに、我が家のレモングラスが専門レストランで役立てられるとは光栄なことだ。

※ 写真は似たものが多いので、次の二つは、記事の文章だけ抜き出しておこう。

2009年10月15日

18日の半島芸術祭 in 南城でのハーブティー準備
猛暑小雨の影響なしに繁茂

2010年4月8日

これほど活用したのものも少ない。

1) ハーブティー

2) 入浴

3) 必要な方々へ レストランなども含め。最近では芝居茶屋ニライカナイ劇場

4) これははっきりしないが、『ハブよけ』。うわさであり、ハブ研究所職員は、認めていない。

それでも、我が家の敷地の周囲 10 数か所に植えてある。それ以後、ハブはこないが、アカマタはきた。だから効果あるのかないのかは不明。

あちこちに植えたから、繁殖しすぎて、さしあげられるのだ。

差し上げているうちに、育て方、使い方も教えられる。タイ料理『シャム』の方からは、根が浮いてきたら、植えかえるとか、根が料理には有用だとか。

2011年4月4日

株分け・植えかえ



レモングラスが、植え付け後、2年ぐらいして、根と茎の境目が地面より上に出てきて、やがて元気がなくなる、という経験をしたことがある。

3, 4年前、近くのレストラン「シャム」のノッコさんに、そんな時は、植えかえる必要がある、と教

えられた。成長につれて、上にあがってくるのが、レモングラスの特徴なのだ。近くに、本場専門家がいると、なにかといい。

最近我が家を訪問した方も、同じ体験をして、レモングラスを育てるのに失敗したという。植え替えが必要になった事を教えてあげた。私はその際、株分けもして、2～3個所に植える。

2012年6月26日

現在、我が畑・庭の10ヶ所ぐらいに育っている。生産過剰気味だ。もっぱらハーブティーのベースに使うだけなので、そうなる。



収穫は、根元に近い部分から切り取っている。

それをさらに短く切って、他のハーブと混ぜて、ハーブティーで愛飲している。



余談だが、レモングラスを知らないで、ススキと間違えて刈り取られたという話をよく聞く。慣れない人は間違えそうだ。

レモンバウム

2007年7月16日

引っ越し当初に種蒔きから始めたもので、今は大きく三つの群れをなしている。

ずっと元気で、収穫し続けている。ハーブティーのベースに活用している。



2009年5月14日

3年目

元気よく広がる

ハーブティーのベースにして、愛飲



2010年4月10日

穏やかで、ハーブティーのベースにしている

2012年7月5日



ハーブを育て始めたころから、ずっと付き合っている。育て方もやさしい。苦勞した記憶がない。昨年の台風で、少なくなったので、その後、種まきしたら、大量に育ってきた。

畑だけでなく、ベランダの鉢にも植えている。

初心者にもお薦めだ。乾燥しかけたら、水をやるくらいだ。



大きくなった枝葉を途中から切って、ハーブティーのベースに使っている。くせのないハーブだ。常時使用といってもよいだろう。常時使用は、他に、レモングラスと数種類のミントなどだ。

ローズマリー

2007年7月18日

数年前、体調不良の際に大変お世話になった。このハーブティーを飲むと元気が出る。

今は数種類のローズマリーを育てている。成長は、他のハーブと比べればゆっくりだが、着実に成長する。今は2種類しか味わっていないが、今秋以降は数種類楽しめそうだ。



2010年4月13日

よく知られたハーブだ。

我が庭を見られる客人もほとんどの方が、名前をご存知だ。

2011年5月2日

ローズマリーを取り木する



ローズマリーは、買ってきた苗を定着させるのに、成功比率が20%と低い
書籍に取り木がいい、と書いてあったので、やってみる

写真は、2ヶ月後の様子。

奥の方が、親で、手前が子どもだ。

どうやら成功のようだ。

——— この記事掲載の直後の台風で、親子ともどもやられてしまった。さらに続いた2011年、2012年の台風が、ピンチにつぐピンチ状態を作り出した。2011年にはほぼ全滅状態。回復しかけたと思ったら、2012年の台風。一からの出直しになりそうだ。

ローゼル

2008年10月21日

我が畑の赤っぽいローゼルの花

近隣でよく見かけるのは、白っぽいというかピンク色、または黄色なのだが、我が畑の花は赤に近く、葉が赤いローゼルなので、かえって目立ちにくい。



2009年11月2日



2010年11月16日



2011年11月21日



ローゼルを最初に植えたのは、5，6年前のことだったろう。
以降、毎年、新しいものが育ってくる。まるで、雑草のようだ。
今回も、通路をさえぎったものを切ったものだ。
蕾がいっぱいついているので、とってみた。



恵美子が、漬物に添えてみた。ある高齢者のかたに差し上げたら、美味しいとのことで、たくさん食べていただいたそうだ。

私は、ハーブティーの中に入れた。ピンクのとてもいい色がでる。

ローリエ（ベイ、月桂樹）

2009年10月11日

料理に使うハーブ

植えて4年

最近元気よく伸び始める

高さ150センチ



2012年9月2日



編んで月桂冠を作ることでも知られているが、直接この木を見たことがある人は少ない。庭の一角にあるこの木は、植えて6，7年になる。2メートルの高さで剪定している。成長はゆっくりだが、だんだん茂ってくる。

葉っぱが料理に使えるが、我が家にはその料理の腕がないので、使っていない。好きな客人は、葉っ

ぱを採取して、おもち帰りになる。

我が家では、これまたハーブティーミックスに入れて飲んでいる。



葉っぱの拡大写真



以前育てていたが、今は育てていないもの

アーティチョーク

2010年3月4日

つぼみをはじめ、食用になるとのこと。

昨年11月、小さな苗を二本買ってきた。現在50センチぐらい。1～2メートルになるとのこと。



ウィンターセボリ

2007年5月15日

なぜウィンターというかは知らない。初夏になっても元気よく成長している。

ティーにして飲むと、元気を出してくれる。喉がつかまっているな、と感じる時に助けてくれる。



キャットニップ

2007年5月29日

一年草だが、今年も種こぼれで新しく2、3本が育っている。猫が好きだそうだが、近くに猫が嫌いなボルトジンユがあるせいか、猫はこない。鎮静効果があるというので、夜のハーブティーに混ぜて飲んでいる。



2009年6月15日

開花

穏やかにするタイプのハーブ

昨年植え付けたもの

ステビア

2007年6月10日

甘味料として有名だ。本当に甘い。葉っぱ3～4枚で、ハーブティー一杯分になる。

このところ、客人にいつも出しているが、不思議に感じられるようだ。

挿し木で簡単に育つので、もっと多くの方が愛用したらいいのに、と思う。



2010年3月11日



タンジー

2009年7月14日

蠅よけに有効というハーブだ。

ほかにも虫よけになるハーブは多い。

いくつか植えているのだが、わが畑のすさまじい蚊をなんとかしてくれるハーブはいまのところないのが現実

ディル



2011年4月12日

今年初めて植えたハーブ。葉を切って使ってきた。

花を咲かすと、ハーブとして使えなくなると考えて、花のある上端を切ってきた。

でも、そろそろ花を咲かせてみたいと思い、伸ばし始めた。見事に咲く。

無数の小さな花を集まって、大きなものになっている。直径20～30センチぐらいか

2012年5月4日

ディル。沖縄でしばしば見るフェンネル=イーチョーバ=ういきょうの仲間。西洋料理の「つま」としてでてくることがある。



バニラグラス

2010年3月24日

この3月に、近所のハーブ・アロマ専門の「花ふう」から我が家へ。

近所に専門家がいるとありがたい。

新しい仲間なので、これから試行錯誤しながら育てることになりそう。

2011年6月8日

超大型台風の来襲は、ハーブにも打撃を与えた。

珍しい被害なしの一つは、バニラグラス



ブルーキャッツアイ

2008年12月6日

鑑賞用ハーブ。小さくひっそりと咲く



フロレンス・フェンネル

2007年6月24日

フェンネル(ういきょう)の仲間であるが、普通のよりも、写真でもわかるように下部が太る。その個所も含めて、サラダに使えるとのことだ。数度使ったが、人気があまりないので、我が家では寂しい思いをしているだろう。

梅雨の大雨で、元気がなくなっている。



ボリジ

2011年3月2日



2月初めに購入してきた苗を植えた。急激に成長し、大きなつぼみをつけている。目下、ハーブの本で学習中のハーブだ。

2011年3月12日

開花

前ページ写真では、つぼみ状態だったが、急成長で開花した。

派手なのか地味なのか、微妙だ



コモンマロー（または、マロー
コモン、オカノリ）

2007年6月4日

和名がオカノリ。昨年植え付けたが、今年も生き延びてはいる。他に種こぼれで、いくつか育っている。

いろいろと活用方法があるようだが、まだそれほど成功してはいない。





2009年3月31日

2009年5月18日
生花にした。
咲きすぎているものを恵美子が生ける



2010年4月6日
もうすぐ素晴らしい花が咲き始める時期だ。
期待している。

ミントブッシュ＝プロスタテラ

2010年4月1日

ミントではないが、ミントに似た香ということで、この名前がついた。

ミントのように草ではなく、木だ。

昨年末、苗店で見つけた。初挑戦している。

現在、高さ20センチ、1メートルにもなるとのことだ。



ミントマリーゴールド



2011年3月20日

1月に植え付けたばかりだが、しっかり育っている



ヤロー

2010年4月15日

数年間育てていたものが、昨年絶えたので、最近植えたもの



レースラベンダー

2007年7月6日

4月ころまで、盛んに開花し、いい匂いを強烈に発していた。

しかし、暑さには弱いらしく、ゴーヤ棚の下で保護しようとしたが、6月末から枯れてきた。

以上のほかに、育てたことはあるが、今は育てていないものをいくつか挙げておこう。

チャイブス フェンネル（ういきょう） ヘリオトロップ ラベンダー数種類 レモンユーカリ